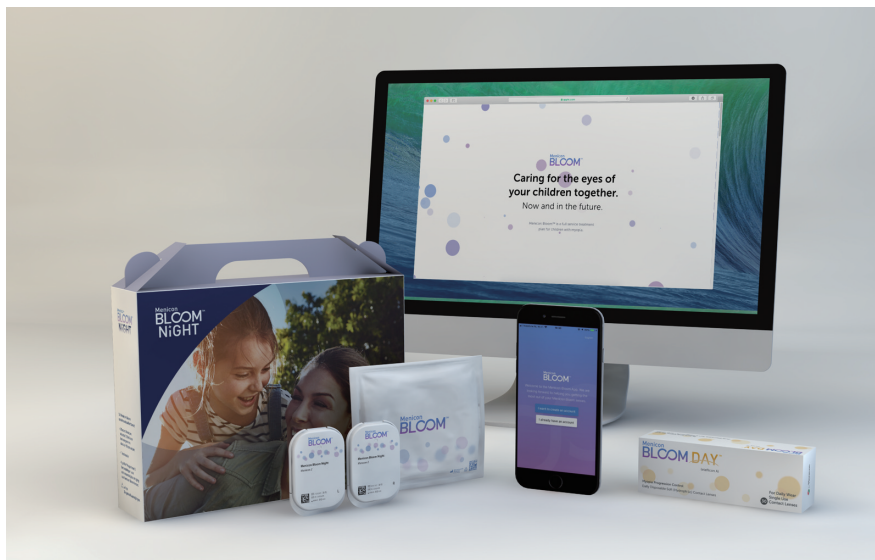


株式会社メニコン

コンタクトレンズ事業をはじめ、多方面で環境・健康・社会にも貢献



近視進行抑制への取組(欧州で展開)



禁煙運動の推進



稲わら分解促進材の開発

ゼロから新たな価値を生み出すことで、  
社会から愛され尊敬される創造型スペシャリスト企業へ

株式会社メニコンは、日本で初めて角膜コンタクトレンズの実用化に成功し、以来、コンタクトレンズのリーディングカンパニーとして業界をけん引してきた。高度管理医療機器に分類されるコンタクトレンズは、医療とは切っても切り離せない存在である。メニコンは、「人にも動物にも環境にも優しい地球企業でありたい」と、SDGsが国連で採択される以前から動物の眼科医療分野にも進出し、医療を軸として持続可能な社会を目指してきた。それは、「すべてのステークホルダーから尊敬され、愛される企業」でいたいという経営理念に基づいている。その想いは今も変わらず、SDGs達成に向けて意欲的に取り組んでいる。

メニコンのSDGsの達成に向けた取組には、視力・環境・健康・社会という4つの柱がある。特に「視力」の柱には、コンタクトレンズをより良い状態で使い続けてもらうための定額制サービス「メルスプラン」や近視進行抑制への取組など、オリジナリティ溢れる取組がある。更には禁煙運動の推進、自社での研究から生まれたサプリメントや、コンタクトレンズのケア用品で培った酵素技術を生かした稲わら分解促進材の開発など、視力だけにとどまらず、広く社会に貢献している。

メニコンでは「非常識の中に新たな可能性がある」という社長の考えのもと、社内での様々な意見一つ一つを参考に、新たな取組を生み出しているため、チャレンジする価値観が浸透し高まっている。この社風もSDGsの理念である「誰一人取り残さない社会の実現」に合致する。

今後もメニコンは、視力の提供だけにとどまらず、コンタクトレンズのケア用品に関する研究をバイオ事業に活用したり、新たな取組を生み出したりと、2030年に向けて様々な企業と共にSDGsの達成に向けた活動を続けていきたいと考えている。

企業担当者の想い

SDGsに取り組むことで、経営理念にも掲げている「すべてのステークホルダーから尊敬され愛される企業の頂点、No.1になる」ことを目指します。また、視力に関わる事業を展開してきましたが、今後を見据え視力の提供にとどまらず、五感を通じて人々や社会に、喜びや幸せを感じていただけるような企業を目標としています。これを読んでくださった方にも、身近にできることにチャレンジしていただき、共に愛知県を盛り上げていきたいです。

